

| | |
|---------|--|
| 氏名 | 上 田 久 志 |
| 授与した学位 | 博 士 |
| 専攻分野の名称 | 医 学 |
| 学位授与番号 | 博乙第 3722号 |
| 学位授与の日付 | 平成14年6月30日 |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当) |
| 学位論文題目 | Effects of Cilostazol on Heart Rate and Its Variability in Patients with Sick Sinus Syndrome (洞機能不全症候群の患者における心拍数及び心拍変動へのシロスタゾールの効果) |
| 論文審査委員 | 教授 大江 透 教授 佐野 俊二 教授 梶谷 文彦 |

学位論文内容の要旨

心拍数の変動は心疾患の予後にとって重症な因子である。我々は、洞機能不全症候群（以下 SSS）の患者に対してシロスタゾールの心拍数および心拍変動に対する効果を調べた。洞機能不全を伴う患者 12 名に経口的にシロスタゾールを投与し、24 時間携帯型心電図計を投与前後で記録すると共に、血漿中の心房性ナトリウム利尿ペプチド（以下 ANP）値及び心胸比も心不全のマーカーとして測定。平均心拍数と最少心拍数は治療の開始後、有意な増加がみられ、洞停止の数も有意に低下した。コサインフィッティングによって求められる心拍数の日内変動はシロスタゾール治療によって増加した。心拍数の時間領域および頻度領域の変動はコントロール群の範囲以内か近いものであった。ANP 値と心胸比はシロスタゾール治療の開始後は有意に減少した。シロスタゾールは洞機能不全症候群の患者において徐脈を改善し、心拍変動を改善した。このことは洞機能不全症候群に起因する徐脈の治療にシロスタゾールが有用である事を示している。

論文審査結果の要旨

本研究は、洞機能不全患者における心拍数および心拍変動へのシロスタゾールの効果を検討したものであるが、従来十分確立されていなかったシロスタゾールの洞機能不全患者における洞結節機能改善に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。